

ほっとほ～む

〔発行〕 社会福祉法人 大阪福祉事業財団 高鷲学園 ☎072-953-3881 Fax072-953-3882

〔発行責任者〕 園長 小山 道彰 〔Email〕 takawashi@miracle.ocn.ne.jp

〔住所〕 〒583-0885 大阪府羽曳野市南恵我之荘2丁目6番20号

就任のたかわし



はじめまして、地域の皆様には高鷲学園への日頃よりのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

4月1日付けで高鷲学園に施設長として着任することになりましたのでご挨拶申し上げます。私自身、法人の転勤ではこれで3度目になりました。最初は、大人の分野（あさひ希望の里）で、次には児童（豊里学園・すみれ乳児院）の分野で過ごしてきました。当法人は赤ちゃんから高齢の利用者に至るまで、大阪府下に20数か所の施設を運営しています。高鷲学園もそのひとつですが、普段は日常的に行き来することはほとんどなく、法人のニュースや施設職員との交流などで見聞きする程度です。改めて、高鷲学園の長年にわたる歴史は、微力ながらも子どもたちを育み守ってきた歴史であることを実感しています。

高鷲学園は、法人の発足から2年後に生活保護施設から児童養護

施設に種別変更し70年近くになります。そして2009年には建て替えを行い、新しい施設での子どもたちの新たな新生活が始まりました。それから7年余りが過ぎたところです。そういった中で、現在の社会の状況は、こともたちの環境にも影響を及ぼし生きづらさを感じていることは否めません。複雑な問題を抱えながら様々な理由で入所することもたちにとって高鷲学園はどういう場所となっているのかを考えると、入所してから戸惑いやうまくいかないことも多々ありますが、限りなく安心してホッとできる居場所であることが、私たち施設職員の役割ではないでしょうか。施設全体の力量を高めながら、支援の充実に、より努めることが子どもたちのその先の人生に寄与できると思います。

着任したばかりでわからないことも多くありますが、今後とも、地域の皆様はもとより関係する諸機関の皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願いします。

（施設長 小山道彰）

退職のたかわし

この3月末で高鷲学園を退職いたしました。1980年に入職してから36年間、親の愛情に恵まれない子どもたちの養育に携わってまいりました。一番の思い出は施設の建て替えで、きれいな新園舎ができた時の感動はいまも覚えています。子どもたちの成長に寄り添えたこと、職員、学校をはじめ関係機関、地域などたくさんの人たちに支えられて仕事ができたことを幸せに感じております。本当に長い間ありがとうございました。これからも高鷲学園へのご支援をよろしく願います。

（前施設長 瀬川 佳成）

第52回

たかわし子どもまつり

日時: 2016年6月5日(日)
AM9:30~PM2:30

皆さんお誘いあわせの上、是非遊びに来てください!

祭



今知って欲しい里親のこと

家庭養護促進の流れの中



大阪府では9割近くの子どもたちが児童養護施設で暮らしています。親と暮らせないとすれば住み慣れた場所を離れ施設に入所するという場合がほとんどです。国の方針として、それを10年ほどの間に概ね3割まで減らし、少ない人数で生活を送る地域小規模児童養護施設を3割に増やし、里親宅で暮らす子どもを3割に増やすと掲げています。これまでの大きな施設で子どもたちも大勢で暮らすという形から、地域での生活や里親家庭での生活といった形で生活単位を小さくしていく(子どもも暮らしをより家庭的なものへ)という転換が進められています。

親と暮らせなくなった子どもたちが一時的であれ長期的であれ、慣れ親しんだ地域で生活ができるように、その地域の家庭で生活できるように「中学校区に1家庭のはぐくみホームを」という目標を掲げています(はぐくみホームと

は、親と暮らせなくなった子どもを一定期間家庭に預かって生活してくれる里親です)。その為にまずは知ってもらうことが大切と各市の市民祭りで里親バルーンの配布やシンポジウムの開催等広報活動に取り組んでいます。地域の子どもはその地域で育てる、それぞれの地域に里親家庭があり、それをサポートできる体制作りが出来ればと考えています。

家庭養護促進の流れの中で施設や里親のどちらであっても、生活単位が小さくなれば子どもたちと関わる大人の人間性がより問われる場面が増えてくると思います。共に過ごす中で色々な課題やしんどい所もある子どもたちに将来を見据えた支援をしていけたら、里親支援専門相談員として里親家庭に寄り添う形で支援をしていけたらと思います。(若林)



「里親ロゴマーク」

新たな養育への挑戦

「ユニット工事」

施設のユニット化が始まりました。今年の2月より工事を始め、定員8名の男子ユニットを1階に、女子ユニットを2階に作りました。「どうなるんやろ?」と日に日に作られていく新しい食堂やリビングに、子どもも職員も興味津々。ユニットでの新しい生活にイメージを膨らませています。



高鷲学園は大舎の施設なので、たくさん子どもと生活を共にしてきました。この度8名という少人数のユニットが完成し、より手厚い支援ができるよう、また家庭的な養護に近づけるよう職員と子

どもたちで新しい生活を作り上げていきたいと思っています。(安場)

「男子地域小規模」

児童養護施設」

2017年度の事業として男子小規模児童養護施設を開設することとなりました。事業のスタートを来年としているのは1年をかけて、小規模ホームに行く子ども同士の絆を深めること、職員と子どもとの関係作りなど準備期間を充分に設けた上で新生活を始めることに重きを置いた為です。

小規模に行く予定の子どもたちがスムーズに小規模ホームに移行する為には、小規模グループという帰属意識を子どもたちに持つてもらうことが大事だと考えています。小規模グループでお出かけをしたり、食事を一緒に作ったり、グループでお話会などを開催しながら、子どもも大人も相互理解を深め、新生活に向けて夢と期待に満ち溢れた一年にすることを目標に掲げ、日々実践を積み重ねていきたいと思っています。(板東)



関西サイクルスポーツセンター

遊びに行きました！

天候にも恵まれ絶好の行事日和となり、子どもたちは寒さに負けることなくアトラクションを満喫しました。全長2キロメートルもあるサイクルリングコースを上り坂にも負けず全力で何周も駆け抜ける子ども。車輪の形状が四角形や三角形の物。漕ぎ方も特殊なものも多く足踏みをして動かすもの、数人で乗り協力して漕ぎ進めるものなど、普段触れることのない珍しい自転車に子どもたちも興味津々。普通の自転車よりはるかに労力を使う自転車で真剣にレースを行う子どもたちもいました。

昼からも子どもたちは疲れた様子を見せず、集合時間まで思いっきり楽しんでいました。さすがに遊び疲れたのか帰園途中のバスや電車の中ではぐったりと寝ている子どももいましたが、この行事を通して子どもたちの関係がより一層深くなったと思える素敵な行事となりました。(榎木)



幼児フロックの

お正月



お正月は子ども達と一緒に電車に乗って初詣をすませ天王寺動物園に行きました。最初に目に飛び込んできたのは大きなカバ。飼育員さんからだを洗ってやっているのを子どもたちはガラスにはりついてじーっと見ていました。



ライオンのゾーンでは、ゆったりと動かないライオンに「おーい！」と声をかけてイメージするライオンの鳴き声を引きだそうとしたりする姿が微笑ましかったです。ヤ

ギヤヒツジに餌をあげられるコーナーでは小さな手で直接餌を口に入れてあげていました。中には怖がって餌を離してしまう子もいましたが、大人が見本に餌やりをすることで餌をあげる事が出来ました。

それからしばらくの間は動物園の話で持ち切りで、「ソウおったなあ」「ペンギン泳いでた！」などブロック遊びでも動物園を再現して動物の人形を配置するなど思い出を振り返って遊んでいました。(松原)

卒園卒業を祝う会

3月21日に開かれた卒園卒業を祝う会にて、今年はいく多くの卒業生が祝福されました。幼稚園生4名、小学生7名、中学生10名、高校生8名が無事に卒園・卒業し、春からの新しい環境へ期待と不安に胸を膨らませています。

卒園生の別れの言葉の中に「学園に来て良かった」と読む子がいました。この日を迎えるまで、幼いころからの子どもたちの葛藤は

相当なものだったと思います。職員や子ども同士の関わりの中で、長く時間を共にしながら、ぶつかりながらも積み上げてきた子どもたちの力が、春からの新しい環境でも生かされますように。どうか、この子たちにまた素敵な出会いがありますように、と。華やかに装飾された会場の中、在園生や来賓の方々に見守られ泣きながら「別れの言葉」を読む卒園生を眺め、願うばかりです。(赤根)



そつえん
おめでとう

＋寄付金・奇贈・招待をいただいた方（敬称略）

（2015年9月23日～2016年3月31日）

※尊いご支援に心より感謝いたします。

寄付金

- S・K（羽曳野市）道明寺天満宮
- （有）フリーマーケット123 T・M（大阪市）
- （株）グラン・ラフィネ
- T・T（羽曳野市）狭山ハウス管理組合 N・M（大阪市）
- （株）万代 羽曳野市更生保護女性会
- 羽曳野遊技業組合 田中農園 扶桑薬品（株）
- 毎日新聞大阪社会事業財団

奇贈

- （株）チュチュアンナ
- （株）システム21
- 大阪レックニット協同組合
- （株）フォーティ
- 日本鏡餅協会
- 大阪なにわロータリークラブ
- 楽天サンタプロジェクト
- 日本出版クラブ
- 大阪本場青果協同組合
- （株）サン・フレバー
- （株）オージス
- 総研 浅田満
- ワールドメイト
- 生命保険ファイナンシャルアドバイザー

- ダー協会 ふれ愛有志の会
- （株）日本アクセス
- （株）アパマンシヨップ
- （有）共伸興産 希望のひかり基金
- （株）AOKI
- （株）エグチュア
- エスペランザ SOV
- （株）ラミーコー
- ポレーション
- 田中農園
- （有）ダスカ
- ジャパンクアウテモック
- フードバンクおおさか
- セカンドハーベストジャパン

招待等

- 大阪府遊技業組合連合会（未来っ子カーニバル）
- オリックスグループファン感謝デー
- （株）タツミコーポレーション（バスケット観戦）
- （株）ワールドマンサックス（野球観戦）
- （株）ハンナン（USJ）

※篤志家より高校生が資格を取るためにと多額の寄付金をいただき、6人が運転免許、2人が介護初任者資格、1人がパソコン資格を取ることができました。また、定期的に振り込んで下さる方々もおられます。ありがとうございます。

新しく働く仲間を紹介します！



精一杯に自分の力を発揮できるように頑張ります。
今村豊由



子どもとの関わりを大切に精一杯働きたいと思えます。
大津桃香



これから一緒にお仕事させていただけます。不安もありますが楽しみです。
佐々木夢



子どもの話を最後まで聞き、子どもに寄り添えるような職員を目指します。
大下倉一馬



体を動かす事が好きなので子ども達と元気に遊んでいきたいと思えます。
田中樺絵



子どもに負けないくらい明るく頑張りたいと思っています。
馬場勇氣



子ども一人一人に親身になって接していきたいです。
横内由真

ほっぴとひとこい

今や4人に1人が花粉症。花粉症の方は非常に苦しい時期ですね。たばことお酒は症状悪化に繋がるそうなので好きな方は少し控え目に！皆さまも予防に努めて今年も乗り切ってください。（中野）